

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	英語 I					授業形態	演習		
科目コード	141700	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	福田 稔							ICT活 用	○
授業概要	<p>(1) 科学に関する英文を読んで理解する読解力を養うことがこの授業の大きな目標である。人間と科学についてのトピックに関する英文を読みながら科学英語への導入を行う。</p> <p>(2) 英語の読解力を身に付け、英文法と英単語の使い分けを理解する。それと同時に英語の学習・勉強法について学ぶ。</p> <p>(3) 演習形式なので、予習は不可欠である。授業にはテキストだけでなく英和辞典を持参すること。</p>								
関連する科目	事前に履修すべき科目は特にないが、英語の実践力を高めるために英会話 I の履修を勧める。								
授業の方法と進め方	受講生全員が発表し、ワークシートを提出して頂くので、忙しい授業である。毎回の授業は講義計画に従って進んでいく。授業の冒頭で前回の授業アンケートの集計結果の報告と説明を行い、これに続いて、受講生にテキスト本文英語の重要語句の意味と日本語訳の発表、または、テキストとワークブックの問題解答を発表して頂く。最後に新しいワークシートの配布となる。また、授業後にインターネットを利用したアンケートに回答して頂く。授業では鉛筆や赤ペンなどの筆記具と英和辞典が必要であるので、各自準備しておくこと。詳細については授業で説明する。								
授業計画【第1回】	ガイダンス。シラバスを使って授業方法、評価方法、テキストとワークシート、英語の学習法について説明する。ワークシート1の配布。								
授業計画【第2回】	Lesson 3 State of Substance, Part 1 Atoms and Molecules 語句の意味発表。本文和訳の発表。 ワークシート2の配布。								
授業計画【第3回】	Lesson 3 State of Substance, Part 2 Boiling Point and Melting Point 語句の意味発表。本文和訳の発表。 ワークシート3の配布。								
授業計画【第4回】	Lesson 3 State of Substance, Part 3 Temperature and Volume 語句の意味発表。本文和訳の発表。								
授業計画【第5回】	テキスト Practice (p. 29, p. 31, p. 33) の問題を解いて解答を発表。 ワークシート1から3の提出。								
授業計画【第6回】	Workbook (pp. 23-28) の問題を解いて解答を発表。 ワークシート1から3の返却。 ワークシート4の配布。								
授業計画【第7回】	Lesson 5 Human Body, Part 1 Bones and Muscles 語句の意味発表。本文和訳の発表。 ワークシート5の配布。								
授業計画【第8回】	Lesson 5 Human Body, Part 2 Circulatory System 語句の意味発表。本文和訳の発表。 ワークシート6の配布。								
授業計画【第9回】	Lesson 5 Human Body, Part 3 Digestive System 語句の意味発表。本文和訳の発表。 ワークシート7の配布。								
授業計画【第10回】	Lesson 5 Human Body, Part 4 Nervous System 語句の意味発表。本文和訳の発表。								
授業計画【第11回】	テキスト Practice (p. 49, p. 51, p. 53, p. 55) の問題を解いて解答を発表。 ワークシート4から7の提出。								

授業計画 【第12回】	Workbook (pp.35-42) の問題を解いて解答を発表。 ワークシート4から7の返却。 ワークシート8の配布。
授業計画 【第13回】	Lesson 9 Ions, Part 1 Ions 語句の意味発表。本文和訳の発表。 ワークシート9の配布。
授業計画 【第14回】	Lesson 9 Ions, Part 3 Acid and Alkali 語句の意味発表。本文和訳の発表。
授業計画 【第15回】	テキストPractice(p. 95, p. 99)とWorkbook(pp. 65-66, pp. 69-70)の問題を解いて解答を発表。 ワークシート8と9の提出と返却。
授業の到達目標	(1) 科学をトピックとした英文で用いられる英語表現が理解できるようになる。 (2) 科学をトピックとした基礎的な英文の概要や構成が理解できるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習 【予習】	テキストの本文英語の日本語訳、語句の意味調べ、テキストやワークブックの問題を解く課題が与えられる。学習時間は60分ほどである。
授業時間外の学習 【復習】	ワークシートを提出する前後でテキストの単元ごとの復習を行うことになる。60分ほどである。
課題に対する フィードバック	提出されたワークシートはチェックをして、授業でコメントを行う。毎回の授業後のアンケートに記載された質問や要望については、次の授業の冒頭で回答する
評価方法・基準	授業中の発表37%、ワークシート27%、期末テスト36%
テキスト	書名 理工系学生のための基礎英語 I 出版社 成美堂 ISBN 9784791960378 定価 2,000円(税抜き価格)
参考書	(1) 特に参考書は指定はしないが、英語の勉強法に興味のある方は自主的に次の本を(図書館等で借りて)読むと勉強のコツがわかるだろう。関谷英里子、『えいごのつぼ』、中経出版、2011。 (2) 授業ではテキストに加えて、英和辞典も使用するので必ず持参すること。電子辞書よりも紙の辞書の方が学習効果は高いので、ぜひ紙の辞書を利用して頂きたい。